

# みんなげんき

令和8年3月3日

## 学年のしめくくりを元気にすごすために

3学期に入ってから、雪あそびやお縄大会の練習に取り組むなど、みんな元気にすごしていましたが、2月中旬にインフルエンザB型が1年生で一気に広がり、学級閉鎖を実施しました。(1年生17人中10人罹患)6年生もわずかに感染者が出ましたが、その後全体に広がることなくおさまっています。

## 元気のバトンを春へ

3月は、寒さとあたたかさが行ったり来たりする季節です。体調をくずしやすく、かぜや感染症もまだまだ流行しやすい時期ですが、これまでに身につけてきた健康習慣が、あなたたちの体をしっかり守ってくれるはずですよ。

卒業や進級をひかえたこの時期、元気に春をむかえられるよう、ひきつづき感染予防に気をつけ、「元気のバトン」をつないでいきましょう。



## 感染症に負けない3月にしよう！

### 手あらいで しっかり予防！

見えないけれど…

手にはウイルスがついていると思ってい！



### こまめに石けんで手を洗い、ウイルスを洗い流そう！

2学期に実施した“手の汚れチェック”(児童保健体育委員会取組)で、手のどの部分に洗いのこしがあったか思い出しながら洗いましょう。



### マスクでシャットアウト！

見えないけれど…

空気中にただよっているとと思ってい！



### おうちの方へ

マスク忘れのため、保健室のマスクを渡すことが度々あります。右記の理由により、配膳中はマスクが必要ですので、忘れず持たせてください。

### 給食配膳中にマスクをつけていますか？

峰山小は教室内で給食を配膳するので、飛まつ(つば)を飛ばさないために、当番の人以外もマスクをつけます。衛生的にすごす、感染症を予防するために大切なことなので、忘れずにつけましょう。

## 自分を大切に、相手も大切にすることを学ぶ

子どもたちが安心して成長していくためには、「自分を大切にすること」と「相手を大切にすること」の両方を学んでいくことが大切です。心・体・命の学習（性に関する教育）は、体のことだけでなく、心のあり方や人との関わり方を学ぶ“生きる力”の教育でもあります。

### 命を大切にできる心を育てる

「自分は大切な存在だ」という感覚は、心の安全基地となり、他者への思いやりにもつながります。



1年 おへそってなあに



2年 おなかの中の赤ちゃん

### 人との関わり方を学ぶ

相手の気持ちを想像する力、SNSでの関わり方など、これからの社会を生きるうえで欠かせない力です。



5年 性被害・SNS被害から身を守る



気持ちの良い人間関係を考える  
(スクールカウンセラー心の教育)

### 体の仕組みを知り、自分を守る力を育てる

体の知識は、子どもが自分の体を大切にするための基礎です。



3年 体の仕組み

4年 育ちゆく体  
(第二次性徴)



### 性の多様性(ジェンダー)を理解する

性のあり方は多様である。「みんなちがっていい」という価値観は、子どもが安心して自分らしくいられる土台になります。

6年 多様な性  
自分らしさ



### 6年 多様な性 学習後の児童感想

ぼくは、今日の学習でいろいろな性について考えることができました。「男らしさ」「女らしさ」というのは、人それぞれ違うと思うし、「〇〇だから〇〇」と決めつけるのもよくないから、なりたい自分になればいいと思いました。

みんながこういうふう生きていくためには、自分自身が、自分を大切に、相手のことも大切にしていけることが一番大事なことだと思いました。